

1週間～
受講可能！

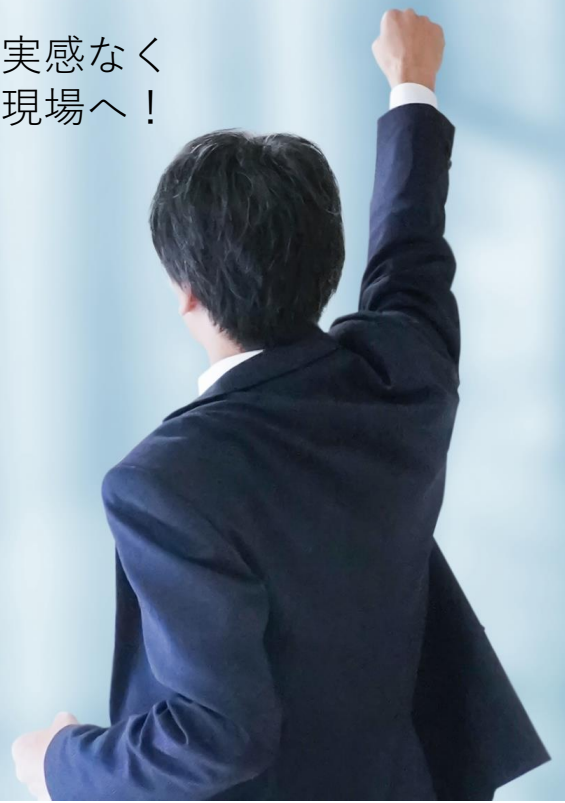
東京ITスクール
TOKYO IT SCHOOL

待機者向け 体験型Java研修 (ショート版)

客先都合で突然の待機…
その数日で成長できます！



待機の実感なく
次の現場へ！



急な待機・短期間の待機を有効活用しませんか？

待機期間中にしっかり育成することでエンジニアの満足度も向上します

毎週月曜開講！待機期間を1日も無駄にしない！

11月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	案件が決まらなければ 翌週も受講可能			13
14	開講 15	16	17	18	修了 19	20
21	開講 22	23	24	25	修了 26	27
28	開講 29	30				

12月

※ スケジュールの詳細はお問合せください。

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	修了 3	4
5	開講 6	7	8	9	修了 10	11
12	開講 13	14	15	16	修了 17	18
19	開講 20	21	22	23	修了 24	25
26		27	28	29	30	31

お客様の声

客先の入館証の関係で入場が1～2週間遅れ、その間エンジニアに何をさせればいいのか長年の悩みでした。
エンジニアのモチベーションを下げずに待機期間を活用、さらに研修期間が柔軟に選べる。こんな研修を待っていました！



企業担当者様

待機の際は自主学習の時間が多く、正直放っておかれている気がして不安でした。
体験型研修でコーディングや設計を経験することで面談でも自信を持って話すことができ、希望していた開発案件に入ることができました！



エンジニア様

1 いつでも使える 超短期型研修



1週間単位で受講可能なので、**急な待機でも安心**です。
現場が決まったら研修を抜けることが可能ですので営業活動も並行できます。

2 スキルに合わせて 最適なコースを提案



受講開始前に適正を確認し、「学習コース」と「製造コース」に分かれます。
さらに細分化された10のコースの中から、最適なコースをご受講いただきますので高い効果を得られます。

3 待機中に スキルシート強化



製造コースの場合、業務として製造していただきますので、もちろんスキルシートに記載できます。待機期間でも「業務」ができるお得な研修です。
詳細はお問合せください。

¥ 料金

8,000円/1日 (税込 8,800円)

若手エンジニアの営業活動でお困りの経営者様へ

新人/若手/ロースキルでも開発現場が決まる!

実体験型!

利益を生み出す会社は実践している

受託開発を経験できる
体験型 Java研修

研修なのに現場が経験できる!

1ヶ月単位で受託開発を経験できる「体験型Java研修」もごございます。

実際のプロジェクトのようにチーム開発を進めていく研修で、スキルシートの強化につながります。

「単価UPできた」「リーダーとして成長した」など喜びの声を多くいただいております。

是非次ページ以降もご覧ください。

- 若手の現場が見つからず困っている…
 - 早いうちに現場経験を積ませたい…
- こんなお悩みを解決できますのでお問合せください。

【お問合せ】

株式会社システムシェアード

諸石(モロイシ) 080-3575-2238

掛川(カケガワ) 080-5647-2238

d-moroishi@3sss.co.jp

t-kakegawa@3sss.co.jp

✓ Java学習コース1

変数から繰り返し処理までの、Javaの基本構文を理解出来る学習内容。

✓ Java学習コース2

Javaのオブジェクト指向に関する構文を理解出来る学習内容。

✓ HTML/CSS & JavaScript学習コース

HTMLのタグの種類、CSSのプロパティの種類、JavaScriptの基本構文を理解出来る学習内容。

✓ Spring学習コース

Springを用いたWebアプリケーションの概要からデータベース操作までを理解出来る学習内容。

✓ PostgreSQL学習コース※順次リリース

PostgreSQLを用いたDDL、DML等の基本的なSQLが理解出来る学習内容。

✓ 製造入門コース

設計書を基に、ThymeleafとJavaを用いて、基本的なWebアプリケーションの仕組みが理解出来るタスク内容。

✓ 製造基本コース

設計書を基に、Spring、mybatis、Thymeleafを用いて基本的なデータベース操作が出来る。MVCモデルに則りコントローラ、モデル、ビューそれぞれの実装が出来るタスク内容。

✓ 製造実践コース

設計書を基にSpring、mybatis、Thymeleafを用いた検索登録のデータベース操作や入力チェックが出来る。MVCモデルに則りコントローラ、モデル、ビューそれぞれの実装が出来る。かつ、入力チェックなどのSpringの機能を用いて、要件を満たすことが出来るタスク内容。

【お問合せ】

株式会社システムシェアード

諸石(モロイシ) 080-3575-2238 d-moroishi@3sss.co.jp

掛川(カケガワ) 080-5647-2238 t-kakegawa@3sss.co.jp



受託開発を経験できる「体験型Java研修」

スキルシートの充実で現場が決まり、
単価もアップ。

株式会社NIS

(右)人事部人事担当 佐藤 雅彦様
(左)人事部採用担当 関 由香里様

■技術者のアサインがコロナの影響で困難に... 新人に開発を経験させてあげられない

佐藤様 昨年度はコロナ禍もあり、新人を含め若手技術者のアサイン先を決めるのに大変苦労しました。決まったとしてもキittingなどがメインで開発業務に就くことはできません。経験を積む機会が不足しているので、スキルシートに書ける項目が増えないからです。それではスキルを伸ばすことができないし、モチベーションの維持も難しい。成長しないままの社員がいるということは、本人だけではなく会社にとっても痛手です。そう考えていた時に東京ITスクールの営業担当者から、新しくできた「体験型Java研修」の話を知りました。

関様 疑似ではありますが受託開発の現場を経験でき、springやAWSといった現場で求められるトレンド技術を習得できるということでした。まさに求めていた研修でした。

佐藤様 しかも研修費の支払いは、スキルアップによって新しい仕事が決まった後。研修によってスキルシートに書ける項目が増えれば、これまでよりも報酬が上がる可能性が高くなります。そこで、さっそく昨年度の新人3名と技術的な現場経験が少ない社員の計4名を参加させることにしました。

関様 受講対象の若手社員たちからは「開発ができる!」と喜びの声が戻ってきました。当時の状況は本人たちにとって不安で、現場で手を動かせる研修内容が何よりも響いたようです。

佐藤様 体験型Java研修は、設計・製造・テストの実施まで行う数十人規模のプロジェクトです。そこにチームのメンバーとして参加するという内容で、スキル・モチベーションの両方に効果があります。何と言っても「スキルシートに書ける!」というキャッチコピーが刺さりました。

■実務経験を積むことで自信がつき、結果条件のいい開発案件へ参画

佐藤様 リーダーを経験した2名のうち1名は、東京ITスクールのサブ講師としてご指名いただき、いまは教える側に回っています。もう1名はJavaの開発フェイズに入りました。残り2名も開発よりの案件が決まりました。体験型の研修に参加して経験したことをスキルシートに書けたことが、きちんと評価につながりました。

関様 実際に手を動かしたことなので自信になり、面談でもしっかりと自分をアピールできたようです。座学との違いを改めて感じさせられました。

佐藤様 参画したのは技術的な開発案件なので、キittingよりも高い報酬で受注することもできました。前宣伝の通り、待機解消だけではなく単価アップにもつながりました。



佐藤様 人事という育成にかかわる部署として、社員の教育は避けて通れません。そのなかで、我々と東京ITスクールの考え方に違いがあると、社員教育・育成の統率が取れなくなるので、マインドや方向性を共有しながら今後も利用したいと考えています。

受託開発を経験できる「体験型Java研修」後

案件が決まり、 事業経営にも寄与

株式会社サンビット

代表取締役社長 山崎 史嗣



■3ヶ月の新人研修後のキャリア形成が大きな課題に。

山崎様 通常、4月から6月の新人研修が終わると、先輩社員がいる現場にOJTも兼ねて配属します。しかし彼らも通常業務があるので、新人の教育になかなか手が回らなかった。新人一人で任せられる仕事が多く、7月から9月にかけてテストばかりしていたというケースもありました。

ただ、そのまま10月からクライアント様に報酬を要求すると、新人は低単価の契約になってしまいます。中にはプログラミングの仕事に就けなかったことから、「新人研修で学んだ内容を忘れました」という者もいて、当社にとって重要課題でした

先輩からすると、自分なら1時間でできる案件を新人に任せると丸1日かかる上にチェックも必要です。私が現場にいた30年前は、完成するまで深夜まで先輩が付き合って待っていた。客先でも比較的自由に作業をやらせてくれました。

しかし、今は働き方改革の影響もあって自由に残業ができない。客先にいられる時間も限られます。結果、新人教育に避ける時間は少なくなり、技術の継承もなかなか難しい。新人が成長しづらい、という負のサイクルがありました。

そんな中東京ITスクールより受託開発の現場を体験できる研修があるとご提案頂き、すぐに参加を決めました。

■チーム体制の研修で、協調性が身につく

山崎様 もっとも大きかったのは、協調性を学べたことです。言うまでもなく1人でプロジェクトを任されることはなく、最低でも3名のチーム体制で進めていきます。メンバー同士が業務を分担・協力する必要があるため、コミュニケーションがとれないと、お客さまのニーズにも答えられない。

しかし、体験型Java研修はチームによるプロジェクト演習なので、我を抑えて協調性をもって仕事を進めるという、この業界の基本を教えてもらえる。チーム一丸となってプロジェクトを終わらせ、納品まで持って行く必要もあります。否が応でも周りのことを考えないといけないので、それが学びになったようです。



■受託で教育してから営業することで条件のいい案件への参画が可能に

山崎様 新入社員は7月から研修を受講し、8月末時点で3人の新人のうち2名は現場が決まり、1名もほどなく決まりそうです。4月から参加していた中途採用者も3人中2名はすでにプロジェクトに参加しています。

新人に関しては4月から3ヶ月間の研修が終わり、7月以降に焦ってテスト案件などに入れなくてよかったと実感しています。通常なら7~9月は無償で入れて、10月から報酬をいただくことが多いのですが、簡単な案件しか経験していないと当然ながら単価は下がる。ところが今回は体験型の経験を評価いただき、通常なら月25万円のところ40万円になったケースがありました。

こういった事例が増えれば増えるほど、当社の業績は上がります。何よりも、プログラミングの仕事に就きたいという希望を叶えられたことも、嬉しく思います